



特集：人工透析と腎臓リハビリテーション

地域に根ざした医療と介護を誠の心で実践します

目次 - CONTENTS -

副院長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・P2

透析医師あいさつ・・・・・・・・・・・・P3

特集

人工透析と腎臓リハビリテーション・・・・P4～5

糖尿病予防教室について・・・・・・・・P6

ISO を取得しました・・・・・・・・・・・・P6

平成 24 年リハビリ病棟実績・・・・・・・・P7

渡り鳥医師が放映されました・・・・P7

法人施設のご紹介・・・・・・・・・・・・P8



副院長あいさつ



各務原リハビリテーション病院

副院長 **わざ 和座** **まさひろ 雅浩**

この度、各務原リハビリテーション病院の副院長に就任しました和座と申します。

当院は平成 23 年 12 月 1 日、リハビリテーションサービスの拡充により、地域の皆様が住み慣れた場所での生き生きとした暮らしを支える事を理念に掲げ、前身の新鵜沼ケアクリニックから、各務原リハビリテーション病院へと発展させて頂く事ができました。開設 1 年余りが経過しましたが、お陰様で開設時より 257 人の患者様を提携医療機関様よりご紹介頂き、入院治療を行わせて頂く事が出来ました（H25 年 2 月末時点）。これもひとえに地域の皆様および提携医療機関様からのご支援とご協力の賜物であり、まずは職員一同を代表して心より御礼申し上げます。

重篤な脳神経疾患を患われたにも関わらず、入院当初では予想も出来ないほど改善された患者様がお元気に退院された時の達成感は格別なものでありまして、後遺症を力強く乗り越えられる患者様の後ろ姿に私どもが勇気を頂いているといっても過言ではありません。また患者様より、「各務原リハビリテーション病院に入院してリハビリしてもらって本当によかった、そのお陰で今も元気に過ごせている」と感謝のお言葉をおっしゃってくださる事は、いち医師としてもこの上ない喜びと誇りとさせて頂いております。「私たち医療人は患者さまに育てて頂いている」ことを、決して忘れてはならないと強く感じるこの頃でございます。

近年、特に医療現場教育においては「患者様中心のチーム医療」の重要性が高らかに誇張されていますが、今後も益々多様化していく患者様のニーズに応えなければならない私達医療人としては、至極当然の心構えであります。各務原リハビリテーション病院のスタッフは、患者様お一人と真摯に向き合い、患者様より学び、そしてお互いに向上し続ける姿勢を貫くことが、地域に根ざした良質な医療・リハビリテーションを提供できる唯一無比の方法であると確信しております。

今後も一人でも多くの患者様に、「各務原リハビリテーション病院に来て良かった」と心より満足して頂けるよう尽力する所存でございますので、引き続きのご支援の程何卒よろしくお願い申し上げます。

総合内科専門医あいさつ



各務原リハビリ透析センター

わたなべ ひとし
渡邊 一司

各務原リハビリテーション病院の透析センター長、渡邊一司と申します。平成 23 年 7 月より新鶴沼ケアクリニックに赴任させていただいております。平成 23 年 12 月に地域の皆様、医師会の方々、行政の方々の多大なご支援を賜りまして、各務原リハビリテーション病院へと発展させて頂く事ができました。これは地域の皆様の当院に対する御期待と受け止め、それに応えていけるよう、日々の診療をより向上させていきたいと思っております。

私の専門分野の腎臓リウマチ膠原病内科である腎臓分野では、慢性腎臓病（CKD、Chronic Kidney Disease）の早期発見・治療が勧められております。慢性腎臓病とは、3 カ月以上持続する検尿異常、腎形態異常又は腎機能（GFR）が正常の 60%未満にまで低下した状態をいいます。腎機能が正常の 15%未満にまで低下し、腎代替療法が必要になった状態を末期腎不全とよびます。慢性腎不全の進行によって末期腎不全に至った場合の治療法の一つとして、血液透析があります。血液透析は、血液の体外循環により人工腎臓に血液を通して尿毒素・水分除去・電解質補正を行います。血液透析を継続することにより普通の生活が可能になります。

血液透析は、栄養士・看護職・臨床工学技士・医師などによるチーム医療が必要であり、当院でも複数のスタッフが共同して治療を行っております。透析療法が必要な慢性腎不全の原因疾患としては糖尿病性腎症が多く、当院では糖尿病専門医である院長や山之内医師による糖尿病管理を行っております。また、透析の合併症として、動脈硬化による脳出血など脳神経性疾患発症の可能性・治療後の障害も多く、神経内科の和座医師が治療にあたっております。栄養管理は、管理栄養士が栄養指導を行っております。

今年は巳年です。医学界において、杖にヘビが巻きついたデザインは古代ギリシャの医神アスクレピオスの杖とよばれ、医学の象徴として世界保健機関（WHO）などでも用いられております。巳年の今年、当院はより一層、地域医療に貢献していきたいと思っております。

特集

各務原リハビリ透析センター



当院のリハビリ透析センターについて

各務原リハビリ透析センターは平成 23 年 12 月に各務原リハビリテーション病院と同時に開設されました。現在、ベッド数は 30 まで増設可能な状態であり、月・水・金曜日の午前・午後の 2 クールと火・木・土曜日の午前の 1 クールで計 35 名の患者様が透析を行っています。



当院のリハビリ透析センターの特徴

送迎サービス

外来患者様で、自力での通院が困難な方には、送迎サービスを行っています。また、併設されている各務原リハビリテーション病院に入院、介護老人保健施設「菜の花」に入所しながら、透析治療を受けることもできます。

検査について

蛋白質やカリウムなどの食事制限に加え、水分の管理も重要になるため、採血と胸部レントゲン、心電図検査を毎月実施しています。また定期的にシャントエコーを実施し、患者様の状態把握及び状態管理を行っています。

食事について

管理栄養士による栄養指導で、自宅での調理方法や味付けについてアドバイスなどを行っています。透析中または透析後の食事を希望される方には透析食を提供しています。

機器について

血液透析濾過（オンライン HDF）という治療を行うことが出来る最新型の透析用機器が 10 台設置されており、かゆみなどの症状の改善に努めています。

腎臓リハビリテーション

透析前・透析後のみでなく、透析中のリハビリテーションを実施しています。詳細については次のページをご参照ください。



腎臓リハビリテーション

腎臓リハビリテーションとは？

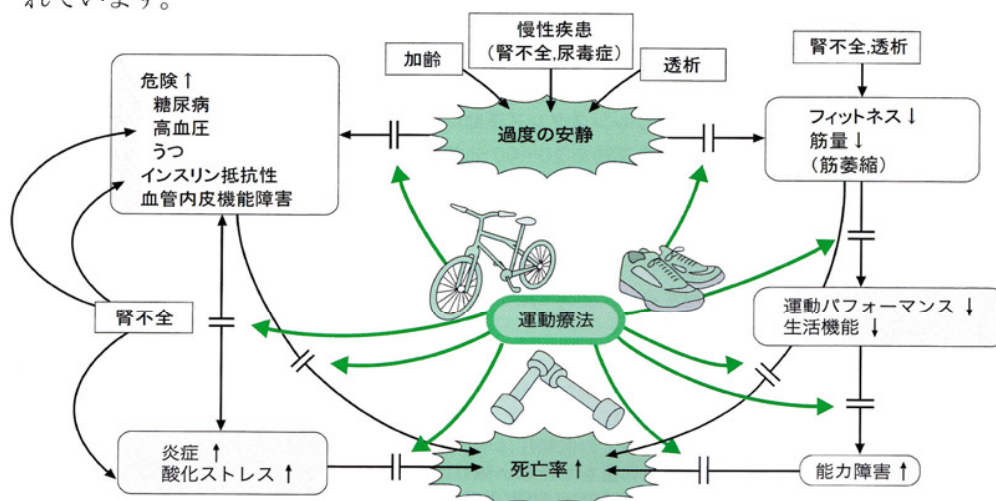
腎臓リハビリテーションは、腎臓障害に対して行う新たな内部障害リハビリであり、**運動療法**、薬物療法、栄養療法、教育、精神的ケアなどを要素とする包括的リハビリの一つであると言われています。

どのような効果があるの？

運動療法は、透析患者に対して**運動耐容能改善**、MIA（低栄養・炎症・動脈硬化複合）症候群改善、蛋白異化抑制、**QOL（生活の質）改善**などをもたらすことが明らかにされています。

また最近の研究では、定期的な運動習慣のある透析患者は、非運動患者に比較して明らかに生命予後が良いこと、**週当たりの運動回数が多いほど生命予後が良いこと**がわかってきています。

まとめると下図のような負の連鎖を運動療法により断ち切ることができると言われています。



運動療法による好ましい効果（Johansen、2007 一部改変）

どのような運動をするの？

腎臓リハビリテーションは、透析前・透析中・透析後の3つのタイミングがあり、当院では患者様の状況に応じたタイミングで専任の理学療法士がリハビリテーションを提供しています。

透析中は基本的に手を動かすことが出来ません。そのため、ベッドに寝たままの足のストレッチや筋力トレーニング、有酸素運動（エルゴメーター）などを行います。



専任理学療法士
平野真弘 副主任

透析中のリハビリテーションの様子（ベッド上での有酸素運動）

■ 糖尿病予防教室のご案内

各務原リハビリテーション病院では、毎月1回『糖尿病予防教室』を開催しています。

それぞれ専門のスタッフが分かりやすく、楽しく説明をさせていただきますので、当院へ通院されている方はもちろん、ご家族の方、最近血糖値が気になる方、糖尿病に関心のある方など、どんなでもお気軽にご参加いただけます。

詳細は職員または院内掲示物、ホームページにてご確認ください。

第21回 糖尿病予防教室

1月のテーマ
「ランチセミナー」
～楽しく食べる！バランス弁当～

担当：管理栄養士 森島 由貴

日時：平成25年 1月24日（木） 12:30～14:00

会場：介護老人保健施設 森の花 3階介護教室

その他：完全予約制
★平成25年1月19日締め切り

※500円自己負担必要となります。

※ご予約は外来スタッフ又は電話にて対応させていただきます。

ご予約の問い合わせ先
医療法人 誠道会
各務原リハビリテーション病院
058-384-8485



1月のテーマは「ランチセミナー ～楽しく食べる！バランス弁当～」で開催されました。

管理栄養士がバランスのよい食事について発表すると共に、実際にバランスの取れたお弁当を食べながら行われました。

■ ISO9001を取得！

平成24年11月に ISO9001 を取得いたしました。

ISO とは International Organization Standardization（国際標準化機構）のことです。その名の通り、国際的に標準となるという意味です。

ISO にはいくつかの種類があります。「9001」や「14001」などの番号によって整理されており、当院が取得した ISO9001 は品質マネジメントシステムを目的としています。「品質」「マネジメント」という言葉から「高品質なものを製造・管理する」というイメージが持たれ、医療・介護とは関係ないと思われる方も多いと思われます。しかし、ISO9001 の目的は単に「よい製品を作ること」だけではなく、「よい製品（サービス）を作る（提供する）ためのシステムを管理すること」です。つまり、当院に置き換えるとよりよいサービスを提供する事で「患者様・利用者様に満足してもらうこと」を目指す仕組みということです。

当院は ISO9001 取得に伴い、よりよい医療・介護サービスの提供に努めてまいります。



FS 588967 / ISO9001

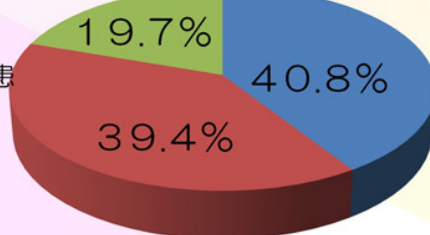
平成24年リハビリ病棟実績

開院から1年間のリハビリ病棟における実績をご紹介します。

- ▶ 平均在院日数：63日
- ▶ 男女比：男性 53% 女性 47%

▶ 疾患別

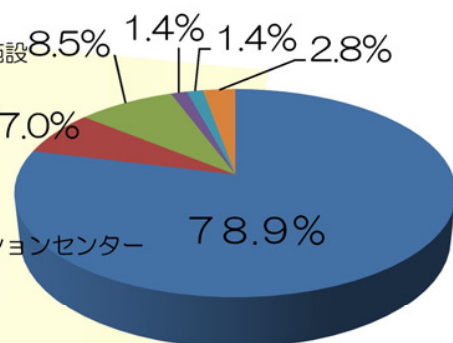
- 脳血管疾患
- 整形外科疾患
- その他



▶ 退院先

- 在宅

- 介護老人保健施設
- 急性期病院
- 回復期病院
- リハビリテーションセンター
- 死亡



“立ち向かう渡り鳥医師”が放映されました



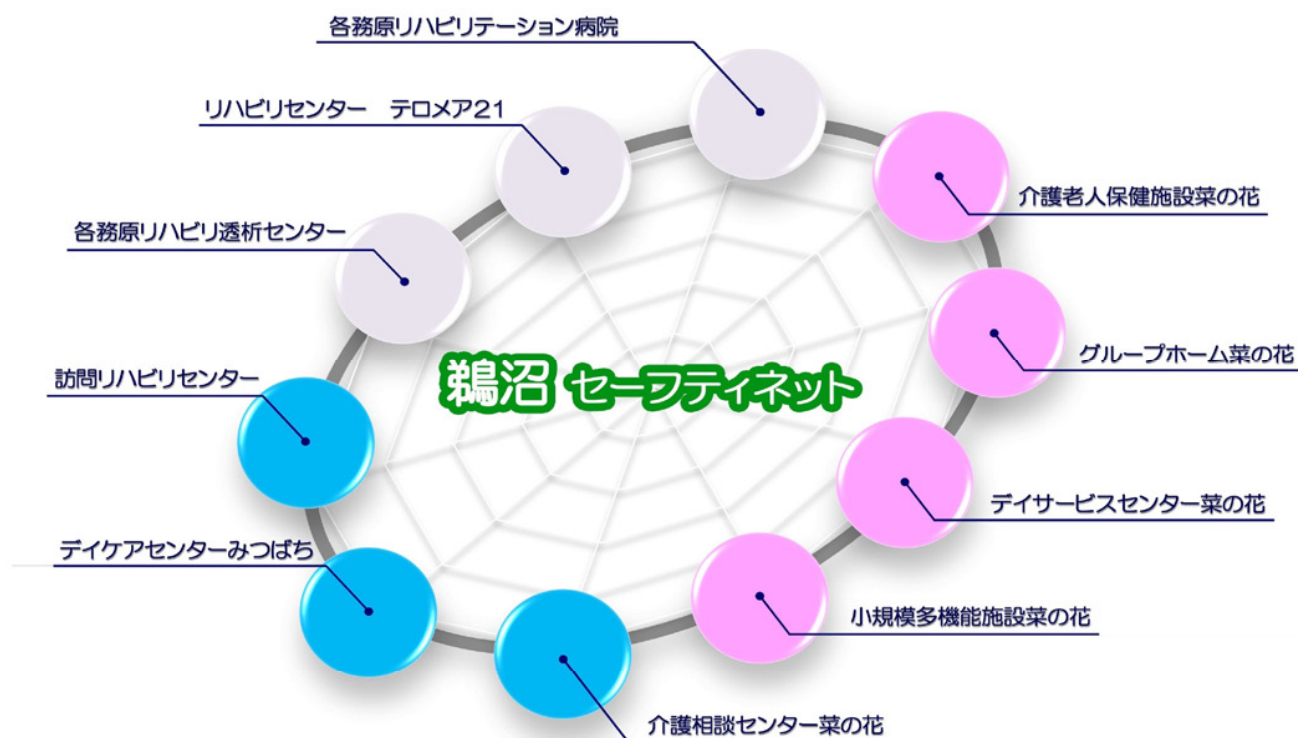
やまのうち くにお
糖尿病内科 山之内 国男



世界糖尿病デーである11月14日に合わせて、当院に外来非常勤医師として勤務している山之内国男医師がCBCテレビの「イッポウ」にて紹介されました。

内容は、日替わりでいろいろな病院、診療所を飛び回る渡り鳥医師として紹介されております。動画は山之内医師のホームページ、当院外来にて見ることができますので是非ご覧ください。

法人施設のご紹介



各務原リハビリテーション病院

各務原市鵜沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8485 FAX 058-370-1901

(地域医療介護連携室)

TEL 058-384-8181 FAX 058-384-8403

介護老人保健施設 菜の花

各務原市鵜沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8399 FAX 058-384-2102

グループホーム 菜の花

各務原市鵜沼東町 6-8-1
TEL 058-379-6205 FAX 058-379-6206

訪問リハビリテーション

各務原市鵜沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8399 FAX 058-384-2102

デイケアセンター みつばち

各務原市鵜沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8399 FAX 058-384-2102

デイサービスセンター 菜の花

各務原市鵜沼東町 6-10-1
TEL 058-370-7494 FAX 058-370-6936

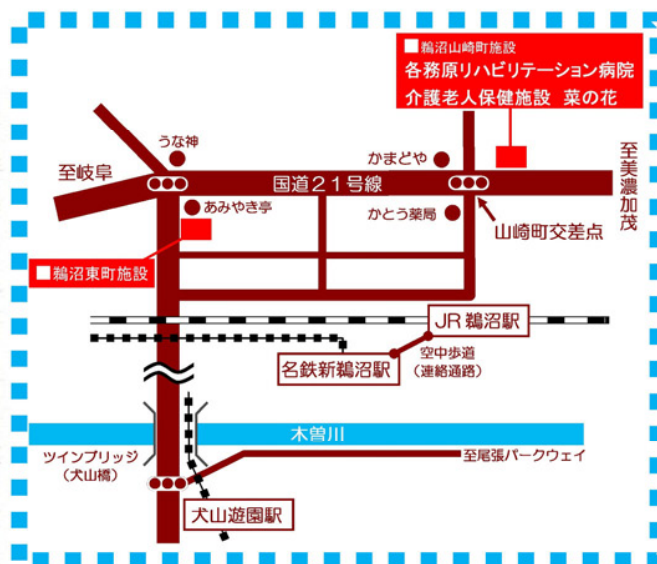
小規模多機能型居宅介護施設 菜の花

各務原市鵜沼東町 6-10-1
TEL 058-370-7775 FAX 058-370-6936

介護相談センター 菜の花

各務原市鵜沼山崎町 6-8-2
TEL 058-370-6935 FAX 058-384-2102

ホームページ <http://www.seidoukai.or.jp/>



— 広報委員 —

磯野理事長 (監修)

リハビリテーション係: 早矢仕 充寿 (委員長)

大塚 瑞樹

地域医療介護連携室: 豊田 啓、谷口 純子

放射線係: 小林 由幸

SEARCH

医療法人社団 誠道会

GO